

学年・教科	第1学年	数 学	担当者 長谷川 諒典・大場 敦
-------	------	-----	-----------------

学習目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して次の資質・能力の育成を目指す。

①数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則などを理解し、事象を数学化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する能力②数学を活用して、論理的に考察する力、統合的・発展的に考察する力、数学的に表現する力③数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、生活や学習に生かそうとする態度や問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度

指導計画		学 習 内 容
1章 正の数・負の数 1節 正の数・負の数 2節 正の数・負の数の計算 3節 正の数・負の数の利用 2章 文字の式 1節 文字を使った式 2節 文字式の計算 3章 方程式 1節 方程式 2節 方程式の利用 4章 変化と対応 1節 関数 2節 比例 3節 反比例 4節 比例、反比例の利用 5章 平面図形 1節 直線図形と移動 2節 基本の作図 3節 円とおうぎ形 6章 空間図形 1節 立体と空間図形 2節 立体の表面積と体積 7章 データの活用 1節 ヒストグラムと相対度数 2節 データにもとづく確率	1 学 期	○1学期は主に正負の数と文字式に関わる内容を学習します。 1章 ：0より小さい数があることを知り、正負の数の意味や表し方、大小関係、計算、四則計算の可能性について学びます。素数の意味を学習し、数の性質を考察します。さらに正負の数の利用を学習します。 2章 ：文字式の表し方にしただって式を書いたり、その意味を読み取ったりします。文字式の計算についても数の計算法則が成り立つことを理解し、簡単な文字式の計算を学習します。
	2 学 期	○2学期は主に方程式や関数、平面図形について学習します。 3章 ：方程式やその解の意味について学習します。等式の性質を学習し、簡単な方程式や比例式、その利用を形式的・効率的に処理できるようにします。 4章 ：ともなって変わる2つの数量から関数関係に注目し、変化のようすを表、式、グラフを使って調べ、比例や反比例についての学びを深めます。身のまわりにある比例、反比例の利用について学習します。 5章 ：図形についての用語の意味や記号について学びます。さらに、平面上にある直線や図形の関係や基本的な作図の仕方について学習します。
	3 学 期	○3学期は主に空間図形や資料の活用について学習します。 6章 ：立体の見取図や展開図などを用いてその特徴や性質を調べます。空間内の平面や直線、その位置関係について学習します。立体を平面図形が移動して構成されたものととらえ、その特徴や計量について学習します。 7章 ：ある資料を収集し、分布表に整理し、ヒストグラムを作成します。累積度数や相対度数、累積相対度数などの値を求め、代表値とともに資料の傾向を判断します。累積相対度数から求められる確率について学習します。日常生活のなかから資料を収集整理し、その傾向を調べます。

観点別評価の観点と主な方法について

- **知識・技能**：定期テスト（知識・技能）の問題，授業の様子や課題・ワーク等での様子 等
- **思考・判断・表現**：定期テスト（思考・判断・表現の問題），授業や課題・ワーク等での数学的活動への取り組みの様子 等
- **主体的に学習に取り組む態度**：課題・ワークやプリント等の提出や取り組み方（くり返し学習の状況），授業への取り組み方，定期テスト後の振り返りプリント 等

学習のアドバイス

数学は「考え方」を大切にする教科です。そして、学んできた内容を使って新しい学びを増やしていく教科です。したがって、練習量をしっかりとって、基本的な内容を定着させていくことがとても大事な教科です。くり返し問題に取り組む「くり返し学習」をこころがけましょう。学習内容をさらに発展させた、発展問題にじっくり取り組むと、考え方や理解を深めることができます。

使用教材

- ・教科書 問題集